



2022年12月期 第3四半期

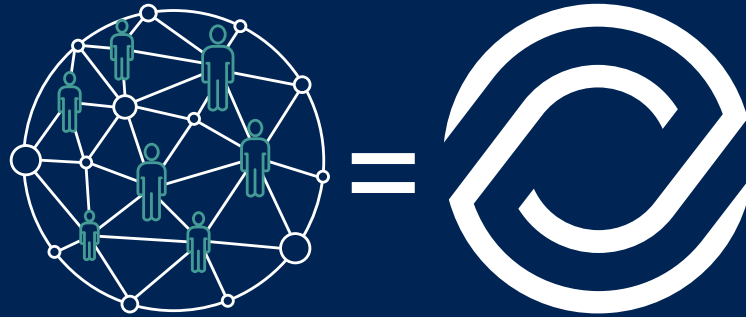
決算説明資料

FINANCIAL RESULTS FOR THE THIRD QUARTER 2022

GAIAX MISSION

人と人をつなげる

EMPOWERING THE PEOPLE TO CONNECT



ガイアックスは、人と人をつなげるため、
ソーシャルメディアとシェアリングエコノミーに注力し、
社会課題の解決を目指すスタートアップスタジオです。

目次

- ハイライト
- 連結業績サマリ
- 事業グループ別業績
- 事業戦略
- 事業課題と方針

当社事業概要



2022年12月期 第3四半期 ハイライト



web3特化のシェアオフィス「CryptoBase@NIB SHIBUYA」が始動

出資先であるMirai Institute株式会社との共同プロジェクト。web3業界の起業家・DAOプロジェクト・NFTアーティストやweb3に興味関心を持つ人々がターゲット。定期的にクリプトに関連するイベントや勉強会も開催。

9月にはフォトシンス社とNFT認証スマートロックを共同開発し、実証実験を開始。

GAIAX DAO
CONSULTING

日本初、既存NPO組織のDAO(分散型自律組織)への移行に着手

DAOという「ユーザーや社外の協力者も巻き込み、一体となったプラットフォーム運営」の仕組みを活用。人材リソース不足、PRやマーケティング不足を補いながら、社会認知を獲得し、社会課題の改善・解決のスピードを飛躍的に向上させる事業モデルを提示へ。

2022年12月期 第3四半期 ハイライト



起業ゼミ

アントレプレナーシップ教育プログラム「起業ゼミ」、今年度の提供校が30を突破

11月には起業ゼミ授業教材の一部を無償提供。

2023年度から本格化するとされている初等・中等教育におけるアントレプレナーシップ教育に向けた起業家教育プログラムの開発・提供に注力。



ブロックチェーン

NICT委託研究 令和4年度「Beyond 5G 国際共同研究型プログラム」に、4大学とともに採択

本プロジェクトの目的は、自動運転やデジタルツインの実現に向けた新しいセンサーネットワークの構築。Beyond5Gの通信網にてリアルタイムでデータが流通できるユーザー参加型のセンサーネットワークを開発する。ガイアックスはブロックチェーンで情報を保護しつつ共有する部分を担当。

2022年12月期 第3四半期 出資先動向



《出資先》住んだ分の家賃で暮らせる部屋「unito」を運営する株式会社Unito
2022年9月、三井不動産レジデンシャルの一部物件にunitoの料金システム「リレント」を導入

「PARK AXIS(パークアクシス) 神楽坂・早稲田通り」、「PARK AXIS(パークアクシス) 池袋」に、unitoの独自システム「帰らない日は家賃がかからないリレント」を導入。

10月には登録者数3万人突破を期に経営体制を強化。当社代表執行役社長 上田祐司が社外取締役就任。さらなる事業成長を目指す。



《出資先》多拠点ライフプラットフォーム「ADDRESS」を運営する株式会社アドレス
2022年8月、シリーズCの資金調達を実施

Bonds Investment Groupと静岡銀行を共同リード投資家とするシリーズCの資金調達を実施。地方自治体と連携した空き家課題や関係人口創出等の事業に積極的な地方銀行や複数の事業会社及びVC等から追加の調達を実施し、2022年秋頃までに本ラウンドを完了する予定。

2022年12月期 第3四半期 出資先動向



《出資先》eKYC本人確認サービス「TRUSTDOCK」を提供する株式会社TRUSTDOCK
2022年7-9月、さまざまなサービスへの本人確認APIの導入実施を完了

法人カード「バクラクビジネスカード」、カーシェアリングサービス「Zenmov e-Drive」、バーチャルシェアハウス型マッチングアプリ「OneRoof」、オートレースネット投票サービス「Auto Race.JP投票」、スニーカー&トレカフリマ「SNKRDUNK」への導入実施を完了。



《出資先》ITエンジニア向けリスキリング SaaS「Techpit for Enterprise」を提供する株式会社テックピット
2022年8月、セキュリティ対策の株式会社ラックが「Techpit for Enterprise」を採用

ラック社のセキュリティエンジニアならびにシステムエンジニア(SE)に、モダンフロントエンドやクラウド技術を中心とした最新の技術トレンドの学習を促進するために、「Techpit for Enterprise」を提供。リスキリング市場の開拓に注力。

目次

- ハイライト
- 連結業績サマリ
- 事業グループ別業績
- 事業戦略
- 事業課題と方針

2022年12月期 第3四半期 振り返り

連結業績

売上高: 1,936百万円 前年同期比: 39.9%増
営業損益: △51百万円

ソーシャルメディアサービス事業

売上高: 1,304百万円 前年同期比: 19.0%増
営業損益: 283百万円 前年同期比: 11.1%増

インキュベーション事業

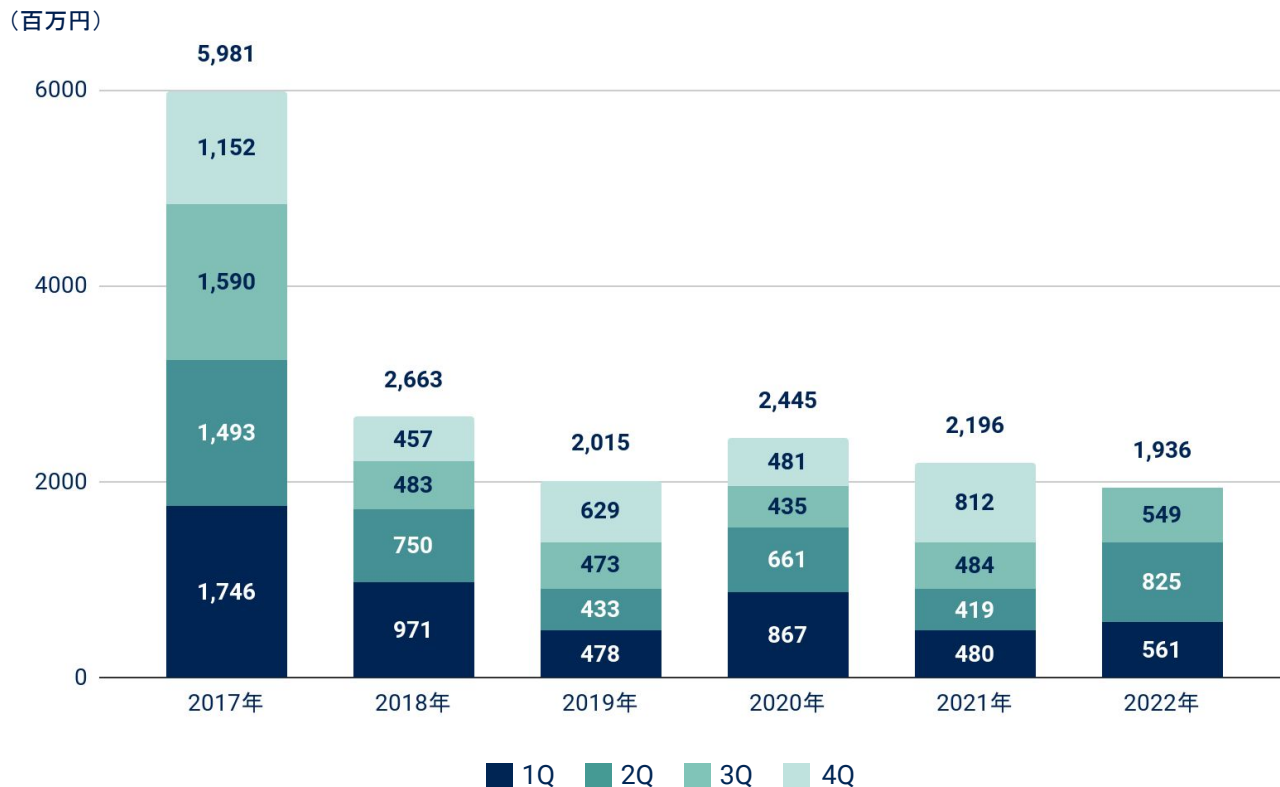
売上高: 654百万円 前年同期比: 122.1%増
営業損益: △80百万円

連結売上高の推移

前年同四半期比+13.5%

ソーシャルメディアサービス事業における、SNSマーケティング支援の受注増が寄与

株式会社電縁およびその子会社は2017年11月に、アディッシュ株式会社およびその子会社は2018年1月に、EDGE株式会社は2021年1月に連結除外となっております。

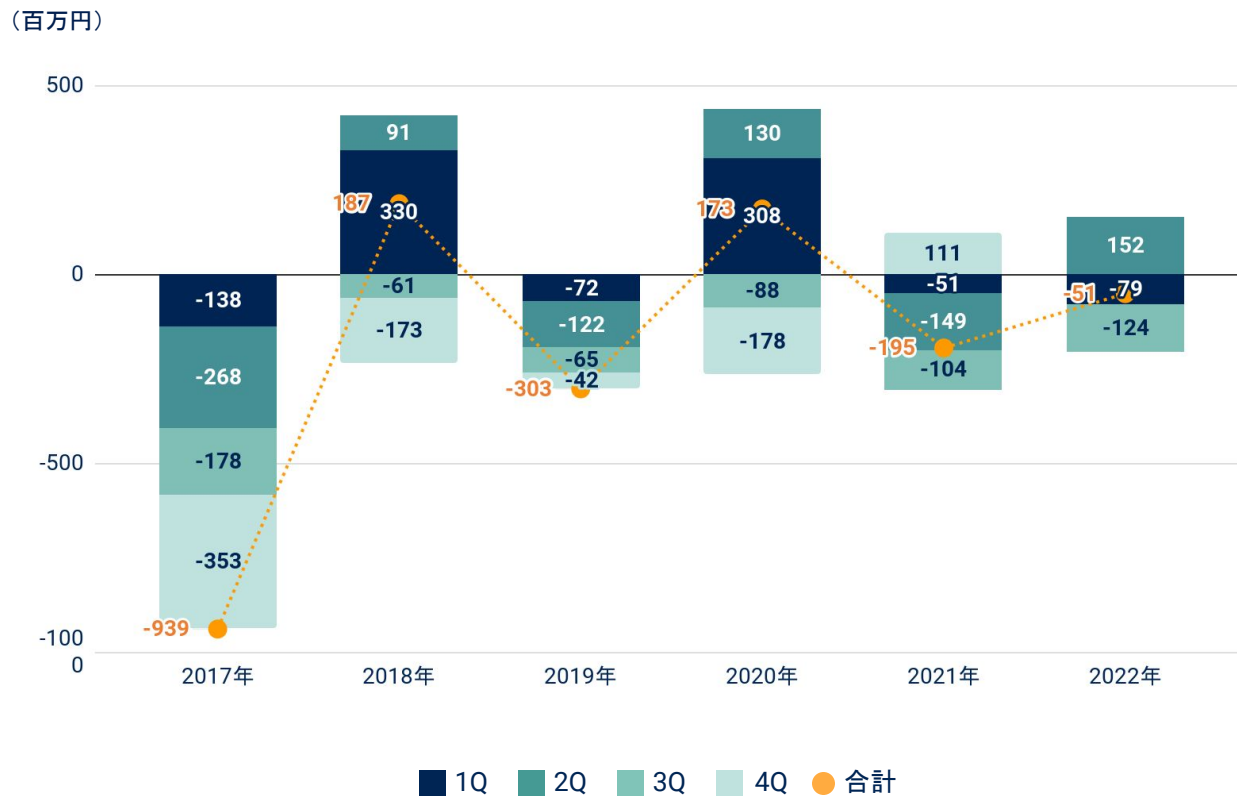


連結営業損益の推移

ソーシャルメディアサービス事業セグメントは堅調に利益額を増加

一方、インキュベーション事業セグメントは事業投資による赤字が拡大

株式会社電縁およびその子会社は2017年11月に、アディッシュ株式会社およびその子会社は2018年1月に、EDGE株式会社は2021年1月に連結除外となっております。



2022年12月期 第3四半期 連結PL(四半期会計期間比較)

売上高が拡大した一方、
積極的なtoC事業投資により
販管費が拡大

2022年12月期第2四半期は、営業投資
有価証券の売却により売上高318百万円、
営業利益314百万円を計上

単位:百万円	2021年12月 期第3四半期	2022年12月 期第3四半期	YoY	2022年12月 期第2四半期	2022年12月 期第3四半期	QoQ
売上高	484	549	+13.5%	825	549	-33.4%
売上総利益	294	343	+16.7%	604	343	-43.2%
販売費及び一般管理費	399	468	+17.3%	452	468	+3.5%
営業損益	△ 104	△ 124	-	152	△ 124	-
経常損益	△ 98	△ 119	-	172	△ 119	-
親会社株主に帰属する 当期純損益	△ 93	△ 115	-	177	△ 115	-

2022年12月期 第3四半期 連結B/S

上場している営業投資有価証券の時
価下落が影響

単位: 百万円	2021年12末	2022年9末	増減
流動資産	2,390	1,984	△ 406
現預金	768	626	△ 142
受取手形・売掛金	231	260	+ 29
営業投資有価証券	1,338	989	△ 349
その他	56	112	+ 56
貸倒引当金	△ 3	△ 4	0
固定資産	292	259	△ 32
有形固定資産	85	83	△ 1
無形固定資産	148	121	△ 27
投資その他の資産	59	55	△ 3
総資産	2,682	2,243	△ 438
流動負債	422	389	△ 32
支払手形・買掛金	51	48	△ 2
短期・1年内返済長期借入金	62	54	△ 8
その他	308	286	△ 22
固定負債	500	350	△ 149
長期借入金	109	70	△ 39
繰延税金負債	364	244	△ 119
リース債務	9	8	△ 1
その他	17	28	+ 11
純資産	1,759	1,503	△ 256
株主資本	890	885	△ 4
その他の包括利益累計額	813	576	△ 236
新株予約権	37	37	0
非支配株主持分	18	3	△ 15
負債純資産合計	2,682	2,243	△ 438

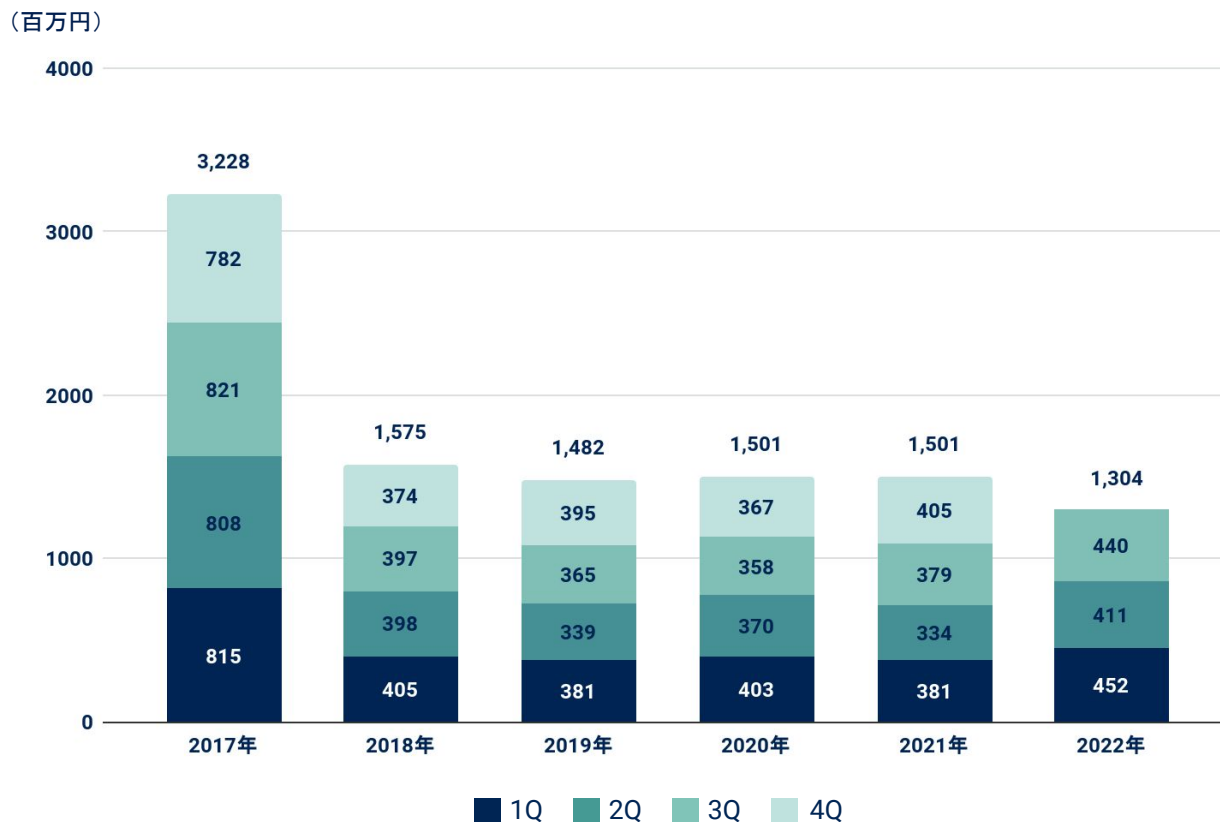
目次

- ハイライト
- 連結業績サマリ
- 事業グループ別業績
- 事業戦略
- 事業課題と方針

ソーシャルメディア サービス事業 連結売上高の推移

SNSマーケティング支援の受
注増により、引き続き
売上高増加

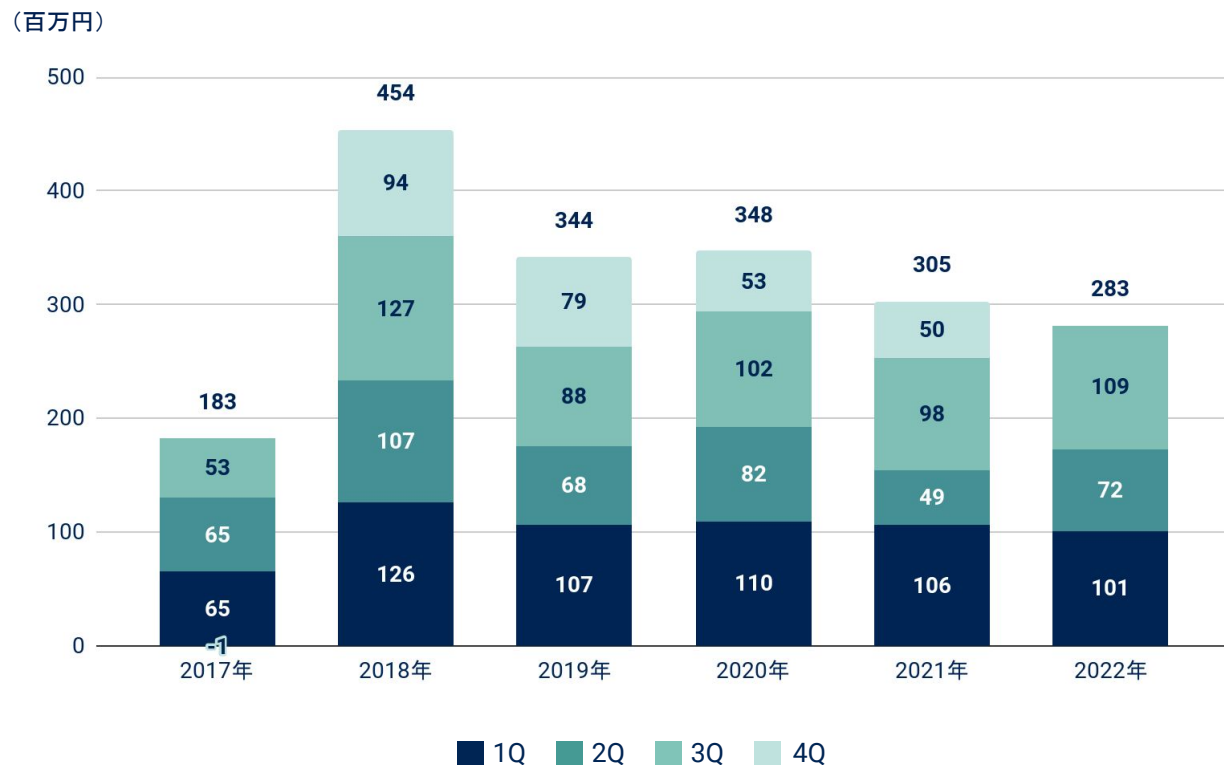
アディッシュ株式会社およびその子会社は2018年1月に、EDGE株式会社は2021年1月に連結除外となっております。



ソーシャルメディア サービス事業 連結営業損益の推移

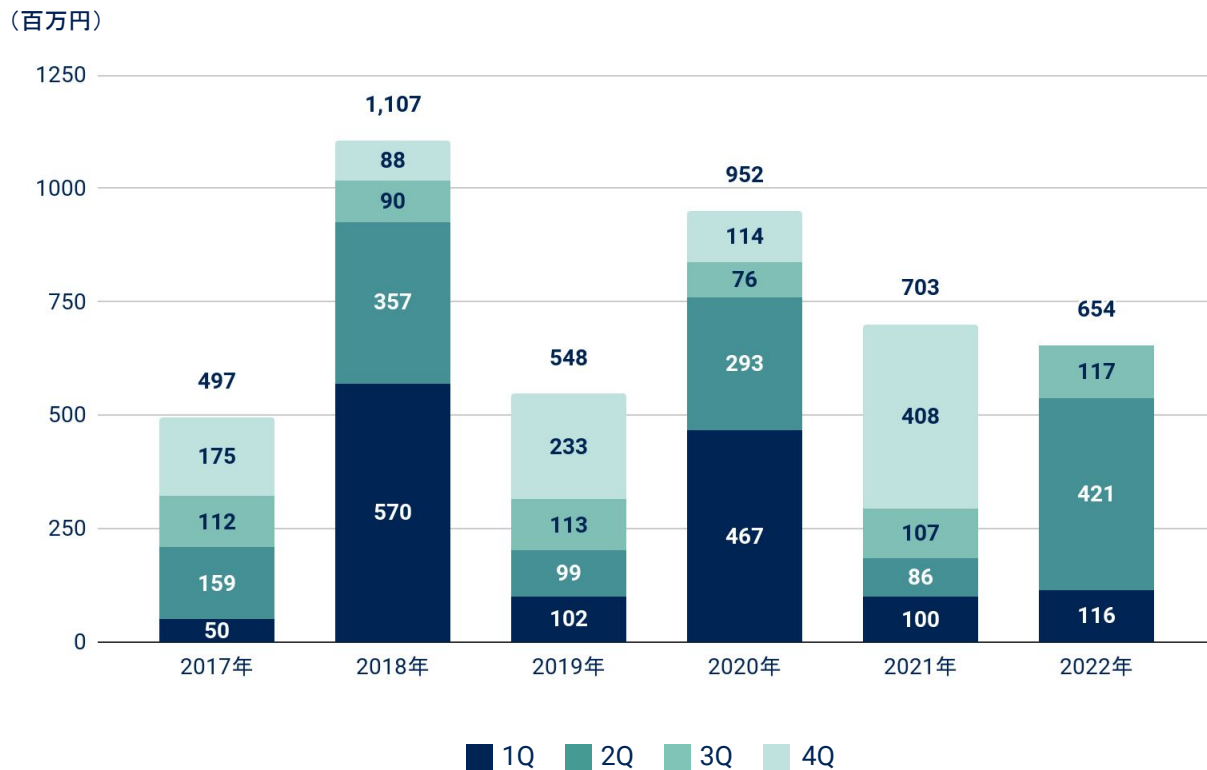
事業成長に向けた積極投資
を継続中も、前年比での
利益増加は堅調

アディッシュ株式会社およびその子会社は2018年1月に、EDGE株式会社は2021年1月に連結除外となっております。



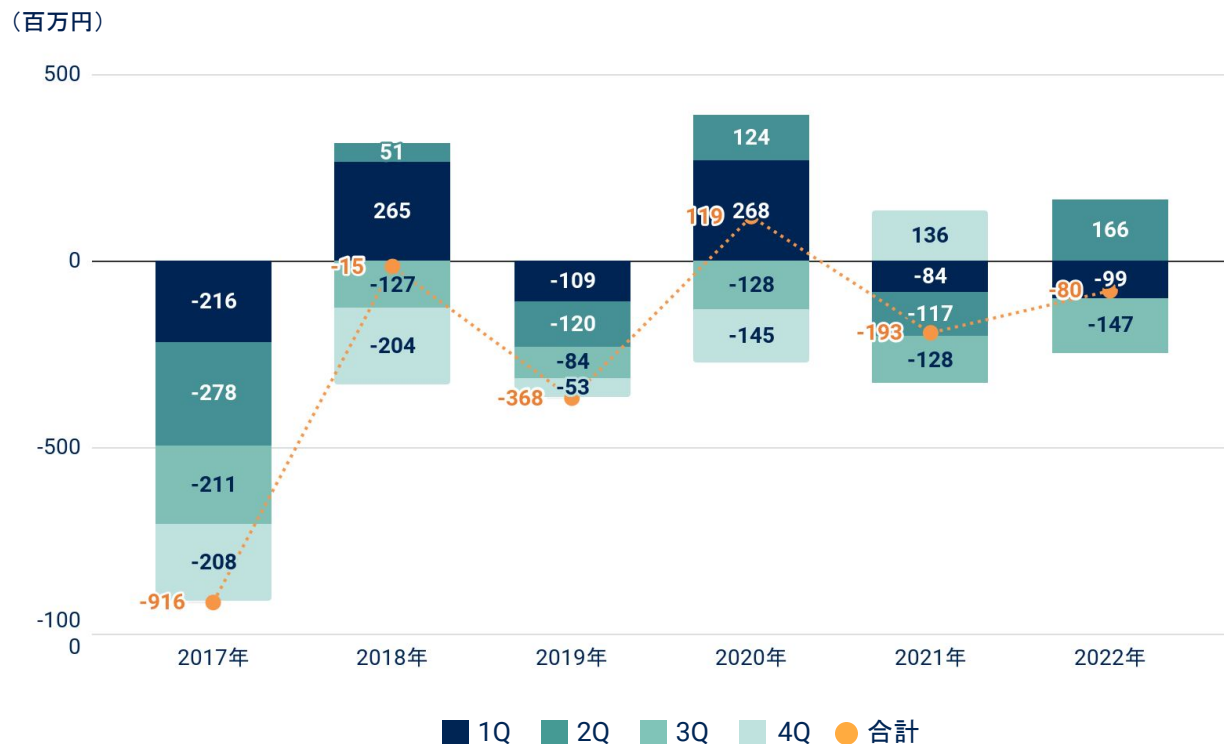
インキュベーション事業 連結売上高の推移

当四半期では営業投資有価
証券の売却を実施せず



インキュベーション事業 連結営業利益の推移

引き続きBtoCおよびCtoC
サービスへの積極的な事業
投資を継続し、赤字幅が拡大



今後の見通し

ソーシャルメディアサービス事業

ソーシャルメディアサービス事業については、SNSを活用したマーケティングやプロモーションは引き続き市況が活性化しており、またインフラ保守・受託開発事業についても安定的な受注確保が想定されることから、売上高については、10%程度の増加を見込んでおります。

インキュベーション事業および連結グループ

インキュベーション事業においては、引き続き新規サービスの発掘・拡販に注力してまいります。新規サービス並びに保有する株式の価値については、マーケット環境や市況動向次第で損益が大きく変動する可能性が高く、適正な業績予測が極めて困難な状況であります。そのため、連結グループとしての業績予想の公表を控えさせていただきます。

また、新型コロナウイルス感染症の状況によっては、今後の業績に重要な影響を及ぼす可能性があります。影響が判明した際は速やかに開示いたします。

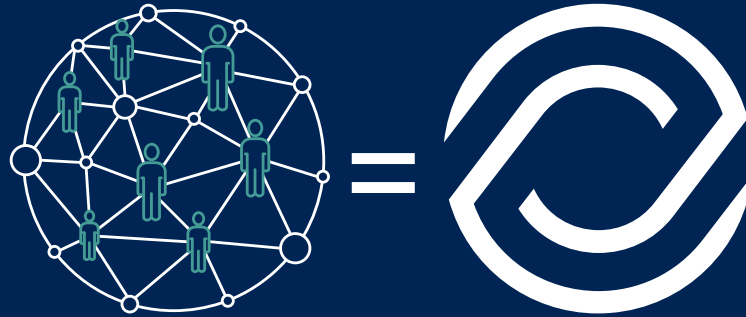
目次

- ハイライト
- 連結業績サマリ
- 事業グループ別業績
- 事業戦略
- 事業課題と方針

GAIAX MISSION

人と人をつなげる

EMPOWERING THE PEOPLE TO CONNECT



ガイアックスは、人と人をつなげるため、
ソーシャルメディアとシェアリングエコノミーに注力し、
社会課題の解決を目指すスタートアップスタジオです。

人と人がつながる社会とは

世界中の誰もが、他人のことを自分のことのように感じ、
互いが互いを自然と助け合う社会



現在の社会課題



環境汚染



大量生産・大量消費



大量廃棄



飢餓・貧困

資本主義の枠組みでは解決できない課題

現在の社会課題



共通リソースの共有



共助による社会インフラ



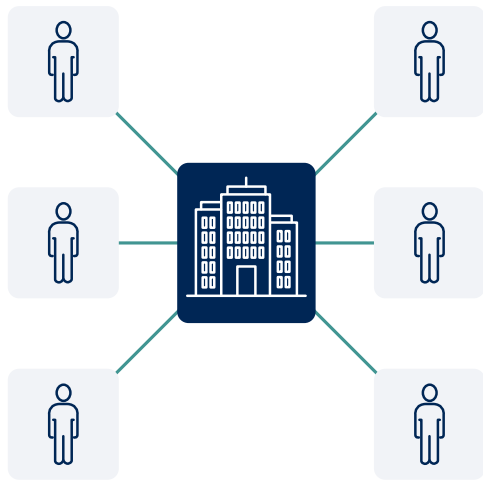
資源の再分配



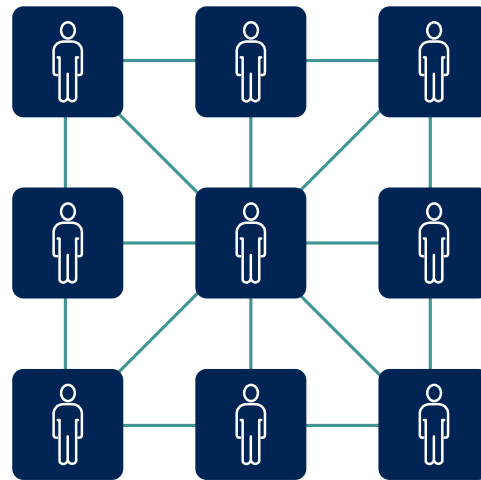
コミュニティの創生

シェアリングエコノミー、web3/DAOで持続可能な社会を作る

持続可能な「フリー・フラット・オープンな社会」の実現



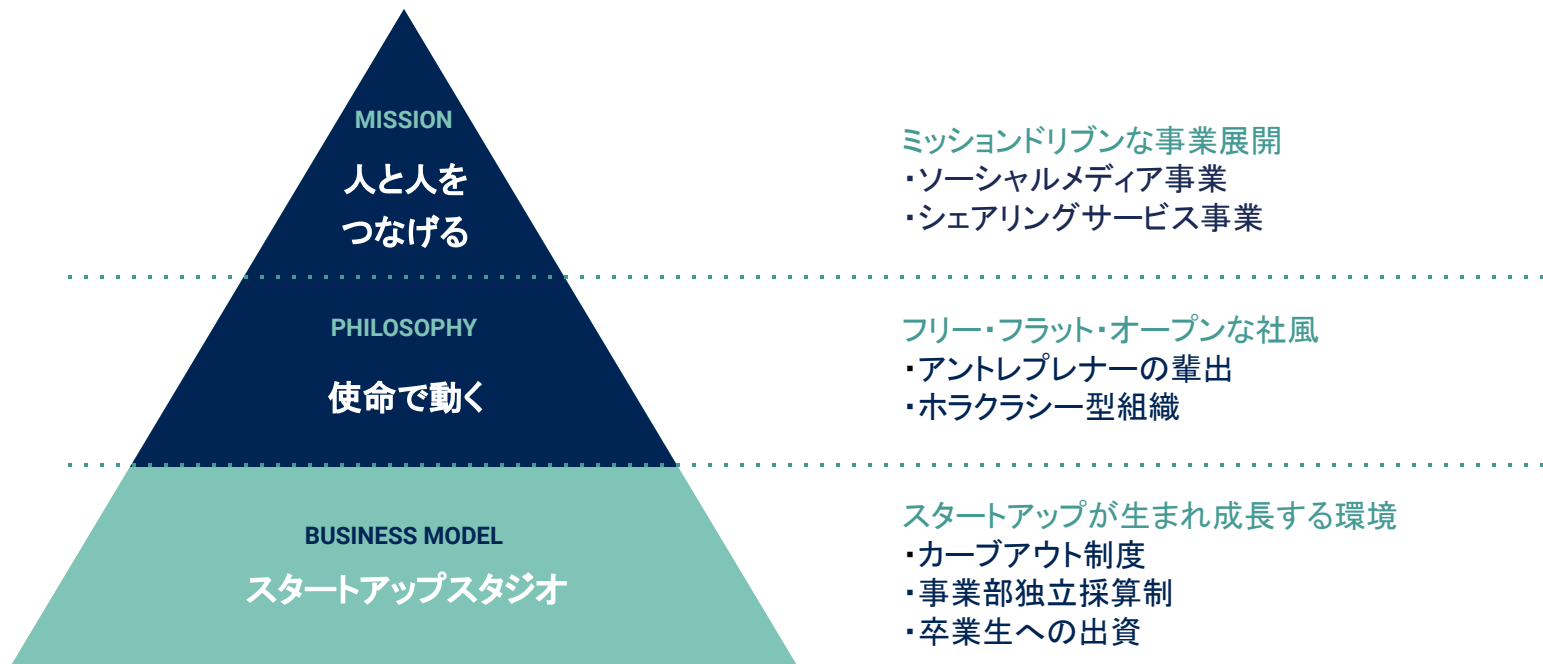
Web2.0(プラットフォーム)



web3(デジタルトラストグリッド)

テクノロジーの活用で、個人が中心の自律分散型社会がこれから実現

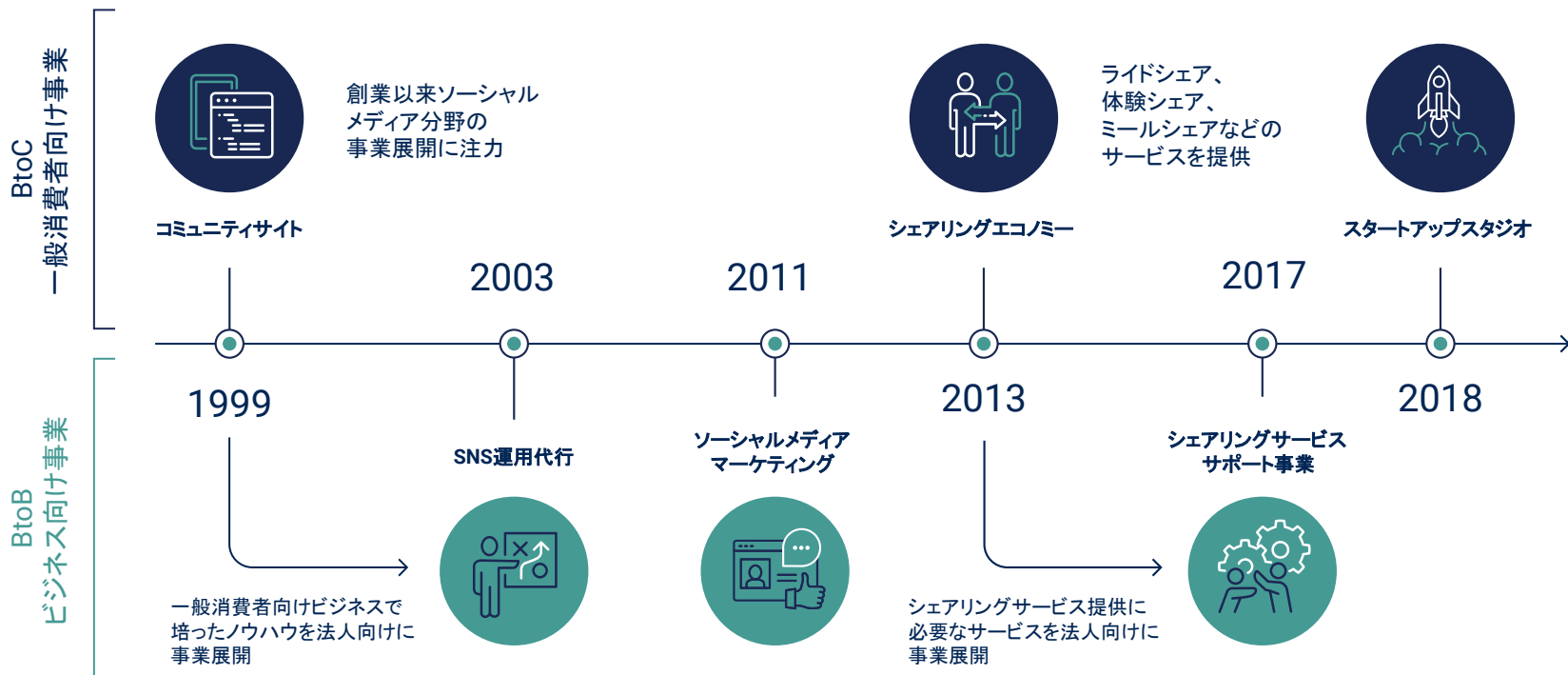
価値観と戦略



ミッション達成のための2つの戦略



創業時より「人と人をつなげる」事業に注力



ミッション達成のための2つの戦略



創業以来、事業・起業家の輩出に注力

経営者視点を育む企業風土

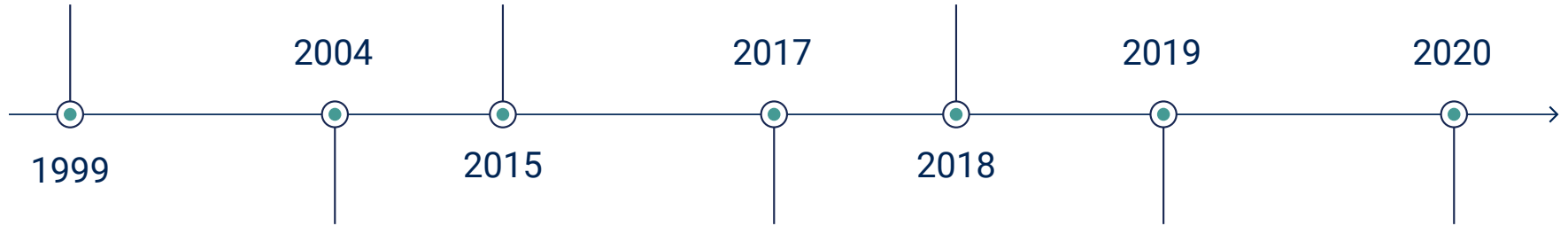
- ・独立採算制度
- ・マイルストーンセッション
- ・フリー・フラット・オープンな社風

当社出資先の株主上場カーブアウト制度の整備

- ・当社卒業、当社出資先ピクスタ株式会社が株式上場
- ・当社よりカーブアウト、当社出資先 AppBank株式会社が株式上場
- ・当社卒業生が創業したスマートロック「Akerun」を提供するIoTベンチャーの株式会社などへの出資

スタートアップスタジオプログラムを開始

- ・アディッシュ株式会社は上場を目指しエクイティファイナンスを実施。
- ・当社社員創業の多拠点居住サービス「ADDress」事業への出資を実施。株式会社は10億円の外部資本調達を実施
- ・スタートアップスタジオの起業支援プログラムをスタートし、プログラミング学習教材ポータル株式会社テックビットや、タレントからサプライズビデオメッセージを届ける株式会社オクリーが誕生



経営者予備軍を集めるインターンや新卒採用

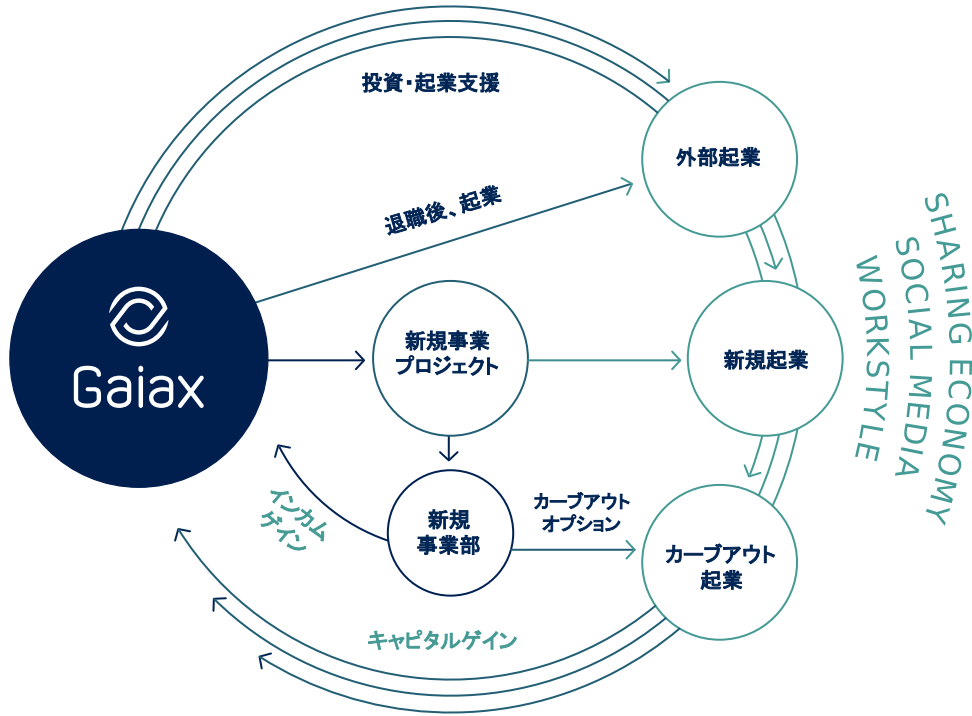
- ・「就職活動後の人気企業ランキング 45位」(AERA 2004年)
- ・新卒入社卒業生 7割が起業 (2015年調べ)

社内SNS領域のAiry事業がカーブアウトし、EDGE株式会社設立

株式会社TRUSTDOCKはカーブアウトし、外部資本調達を実施

アディッシュ株式会社が東証マザーズに上場

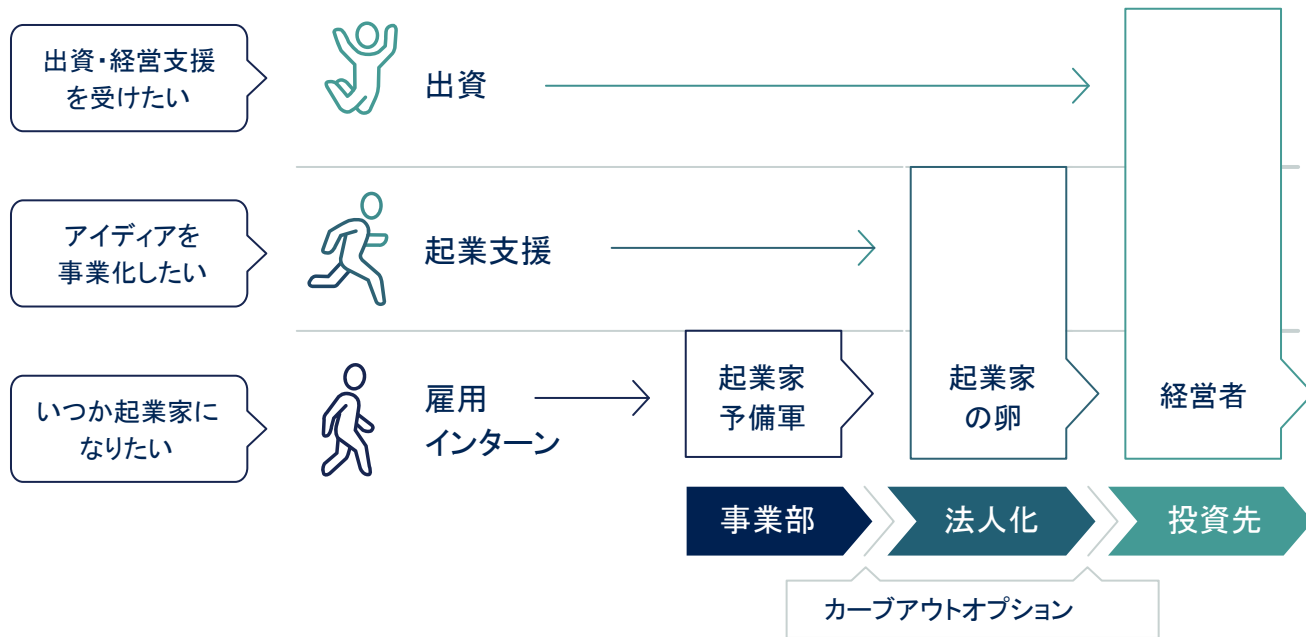
ガイアックスの事業成長戦略



独自のカーブアウトオプション制度を
主軸に、継続して起業家を
輩出キャピタルゲインを再投資する
スタートアップスタジオ

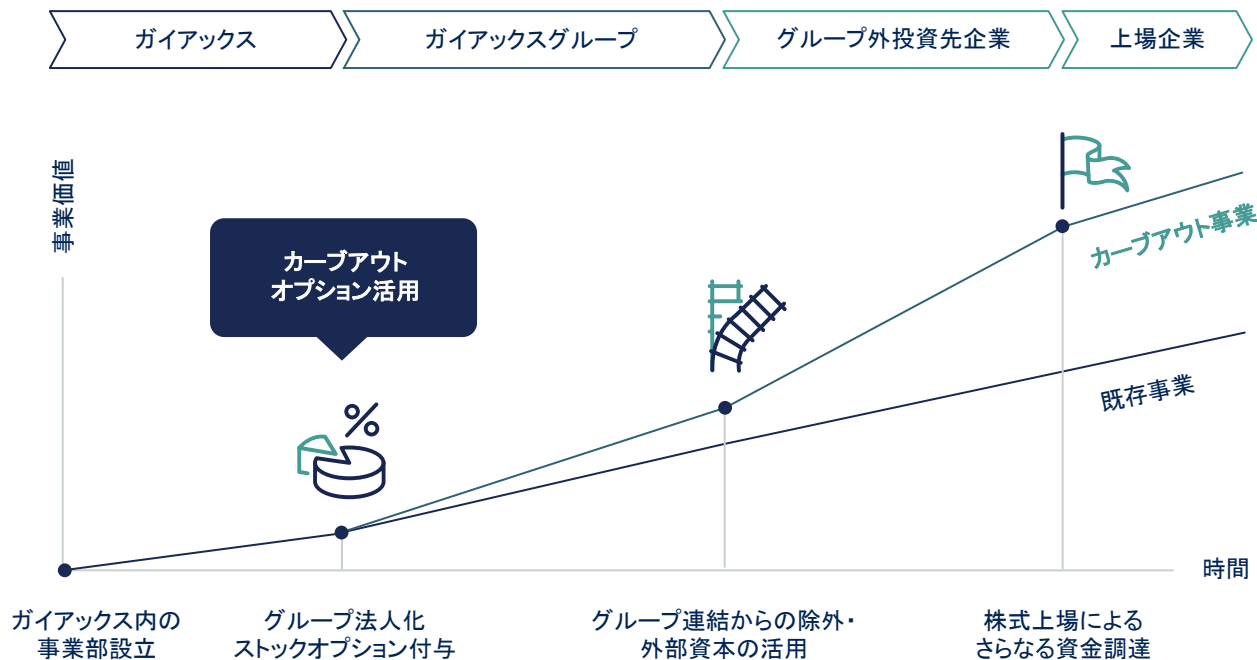
ガイアックスの事業成長戦略

直接投資や、雇用を経ての独立など多様な起業スタイルによって起業家輩出を加速



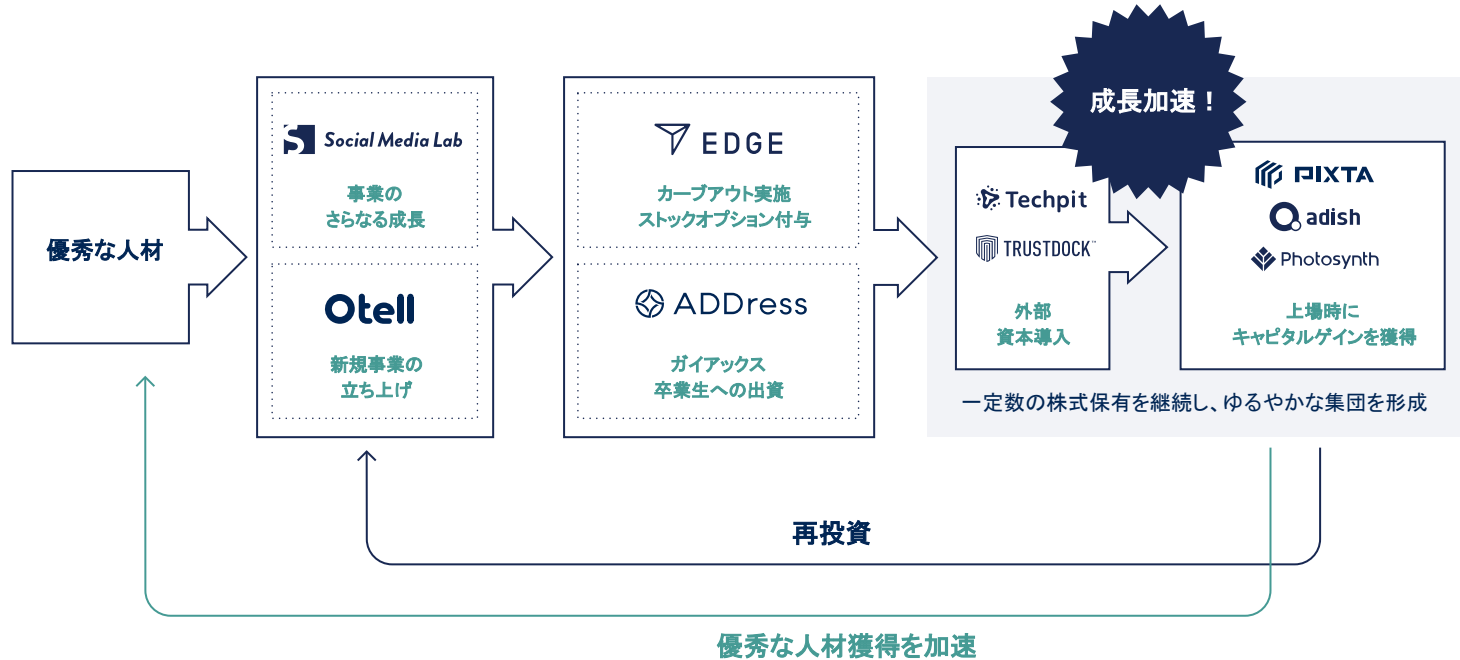
ガイアックスの事業成長戦略

事業カーブアウトおよび外部資本活用による事業成長に注力



事業戦略 スタートアップスタジオ

各事業部へのオーナーシップを付与、また当社卒業生への出資によるスピード経営を実現



カーブアウトオプション制度活用事例

事業成長を最大化させる取り組みを実施



法人設立を支援し、シード期に出資した株式会社Photosynthが株式公開

2014年、ガイアックスメンバー3名が卒業し、計6名での創業から7年で上場



趣味で始めたAkerunのプロジェクトが一般紙に取り上げられ起業へ

2014年9月 五反田のマンションの1室で、6名で起業。

2016年7月 世界初のNFCで鍵が開くスマートロック「Akerun Pro」を発表。

2019年5月 既設の電気錠や自動ドアを直接制御「Akerunコントローラー」を発表。

2021年6月 Akerun Pro(アケルン プロ)の次世代ハードウェアを発表。

2021年11月 東証マザーズへ上場

会社名 株式会社 Photosynth

ミッション “つながるモノづくりで感動体験を未来に組み込む”

代表取締役社長 河瀬 航大

従業員 168名(2021年12月末時点、役員を除く)

所在地 〒108-0014 東京都品川区西五反田東京都港区芝 5-29-11
G-BASE田町15階

事業内容 1. IoT関連機器の研究開発
2. 「Akerun入退室管理システム」の開発・提供

目次

- ハイライト
- 連結業績サマリ
- 事業グループ別業績
- 事業戦略
- 事業課題と方針

ソーシャルメディアサービス事業の課題と方針

その中でも、主要事業である
SNS運用代行、マーケティング支援の新しい局面

SNSが企業ブランディングのタッチポイント
フォロワーを増やすだけでなく、効果を得たい



統合型マーケティングを提供

- ・SNS以外も含めた効果測定をデータ解析チーム
- ・リッチコンテンツ・クリエイティブ提供のための専門組織



顧客単価上昇と顧客増を通じ、SNSマーケティング支援は年率15%成長

インキュベーション事業の課題と方針

これまで、投資先の卒業生の創業企業から4社が株式公開



2015年9月 東証マザーズ上場

時価総額 40億円
持分比率 7.56%



2015年10月 東証マザーズ上場

時価総額 81億円
持分比率 17.86%



2020年3月 東証マザーズ上場

時価総額 20億円
持分比率 41.79%



2021年11月 東証マザーズ上場

時価総額 228億円
持分比率 3.82%

※時価総額および持分比率は新規公開当時のものです。



ネクストステージ

時価総額 数百億円 × 持分比率 10~30%

この実現を目指しての積極投資

インキュベーション事業の方針

今後も引き続き、確度の高い**社内・卒業生投資**に比重



創業時出資で、持ち株比率がとれ、
弊社が投資先の人材見極めが十分できる企業への投資に重点

インキュベーション事業の方針

インキュベーション事業(社内投資)



新規事業
(連結内)

- ・体験シェアサービス
- ・シェアオフィス事業
- ・オンライン配信
- ・クラウドキッチン事業など

GRID

KITCHEN WAVE

aini

Otell

LOCOTABI comlive

インキュベーション事業(社外投資)



投資先企業

カープアウト

adish

TRUSTDOCK

EDGE

スタートアップスタ
ジオ起業

Techpit

シェアグリ

FEMMA

卒業生起業

PIXTA

Photosynth

ADDRESS

投資支援

Timee

巻組

unito

起業家人材の採用

- ・高確率で優秀層が採用できる新卒採用への注力
- ・起業家輩出企業としてのブランディング

創業前期からの事業開発の伴走

- ・中高大学生含む若年層向けの起業家育成
- ・バックオフィス、エンジニアリング含めた支援

若年層の起業家予備軍の採用と投資

インキュベーション事業の方針

若年層の起業家予備軍層へのリーチと採用

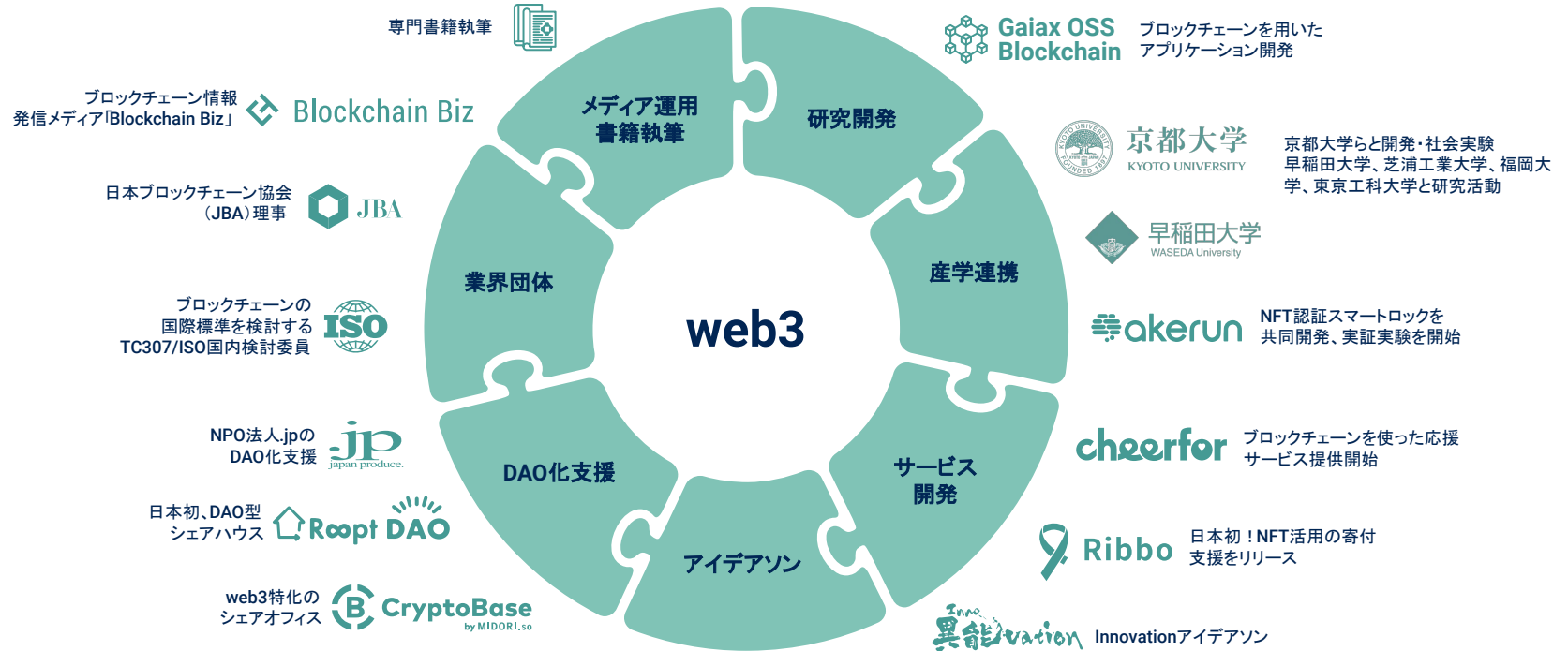
起業部、起業ゼミ、スタートアップスタジオ協会、SNSなどを通じて接触



なお、これらの取り組みは、シード期での接触や出資、
ガイアックスの採用のみならず、人材紹介事業においてもシナジーが高い

インキュベーション事業の方針

第3の柱としてweb3に着目、DAO活用・DAO化支援事業に注力へ



インキュベーション事業のおかれた環境

日本政府、経団連ともに、スタートアップに注力
今後5年で起業数、投資額は10倍に



岸田内閣

2022年を「スタートアップ創出元年」とし、起業、
投資額を5年で10倍にする(2022年6月)
「スタートアップ担当大臣」を新設(2022年8月)



2027年までに起業数とレベルを10倍にする
「スタートアップ躍進ビジョン～10X10Xを目指して～」を発表
(2022年3月)

経済産業省事業の客員起業家(EIR)活用実証事業者に採択。起業家輩出を推進

ガイアックスは、客員起業家(EIR)の活用に係る実証事業の事業者に採択
(2022年7月29日)



”起業準備を行う者や、新規事業の開発等に関する知見を有する者等を、「客員起業家(EIR: Entrepreneur in Residence)」として一定期間以上雇用・委託等を行うことを通じて、新規事業の開発や新たな協業の創出に取り組む企業について、各企業の取組を支援しつつ、先端事例として取り上げることで、我が国における客員起業家のより一層の活用を図り、起業の増加及びオープンイノベーションの促進を図る。”

(出典: 経済産業省令和3年度補正「新たな学び直し・キャリアパス促進事業(客員起業家活用企業等実証支援委託事業)」)

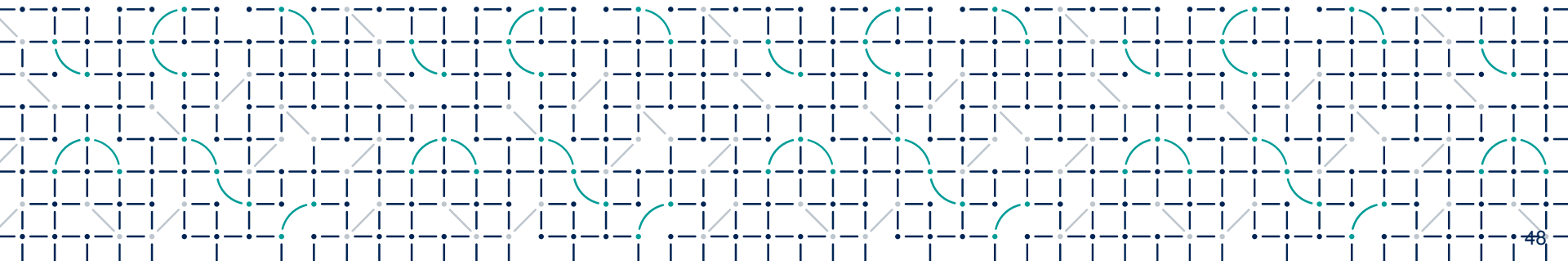
注意事項

- 本資料における見通し、戦略等は、弊社を取り巻くさまざまな要素により大きく異なることも考えられます。将来の戦略、業績等につきましては、ご説明申し上げます内容と異なる可能性がございます。
- 本資料の記載内容のうち、歴史的事実でないもの、当社の現在の計画、戦略、見込み等、既に確定した事実でないものはガイアックスの将来に関する見通しおよび計画に基づいた将来予測です。これらの将来予測には、リスクや不確定な要素等の要因が含まれており、実際の成果や業績等は、記載の見通しと異なる可能性があることをご了承ください。
- また、新たな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に弊社が将来の見通しを見直すとは限りません。
- 本資料の掲載内容の全てもしくは一部につき、当社の事前の承諾なく、私的利用その他法律によって認められている範囲を超えて、複製、改変、転用、掲示、送信、領布、ライセンス、販売、出版等することを禁止いたします。
- 掲載内容については細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りによって生じた損害等に関し、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。



APPENDIX

FINANCIAL RESULTS FOR THE THIRD QUARTER 2022



会社概要

2022年9月末時点

会社名	株式会社ガイアックス Gaiax Co.Ltd.	従業員数	131名 (連結・正社員)
企業理念	ガイアックスは、「人と人をつなげる」を企業理念とし、人と人とのコミュニケーションの促進や、コミュニケーションを行うサービスや事業の創造に力を注ぎ、世の中全体を思いやる社会の実現に取り組んでいます。	事業内容	・ソーシャルメディアサービス事業 ・シェアリングエコノミー事業 ・インキュベーション事業
代表者	代表執行役社長 上田 祐司	上場市場	名古屋証券取引所 ネクスト市場 証券コード 3775
設立	1999年3月5日	発行株式数	5,147,752株
資本金	100百万円	株主数	2,324名 (2021年12月末時点)
本社	〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-5-3 Nagatacho GRiD	決算	12月

ソーシャルメディアサービス事業の構成

ソーシャルメディア領域



GENIC LAB

ベータ+広報



Webマーケティング支援領域

MARKE!T



ワークスタイル支援領域



インキュベーション事業の構成

グループ内
インキュベーション事業



グループ外
当社の卒業生が創業・経営企業への投資



グループ外
シェアリングエコノミー企業等への投資

※掲載の投資先は一部です。



インキュベーション事業 現在のパイプライン

アーリーステージ

IPO等

バリュアアップ

グループ内

Otell

ホテルワーク

comlive

オンラインイベント配信

GENIC LAB

インフルエンサーDB

aini

体験のシェア

LOCOTABI

地域体験のシェア

KITCHEN WAVE

クラウドキッチン

CO-NECT

Web受発注システム

TRUSTDOCK

API型本人確認サービス

SHARE CYCLE
LOGICOGI

シェアサイクル

SPACEE

会議室シェア

Techpit

プログラミング教材

テレスペ

ワークスペースシェア

Runtrip

ランニングシェア

NO KAKI
BUSINESS

スペースシェア

anyCarry

シェア型のデリバリー

OTERA
STAY

寺社民泊体験

MIDORI.s o

シェアオフィス

つなげと

体験シェアアプリ

SAIRU

マーケティング支援

DogHuggy

ペット版民泊

nutte

縫製マッチング

nesto

オンライン教室

巻組

空き家活用シェアハウス

ADDRESS

住み放題シェアハウス

unito

サブスク住居

Timee

ワークシェアアプリ

Homii

ホームステイマッチング

百戦
錬磨

地域民泊

EDGE

社内SNS・働き方支援

acrorea

クラウド型の業務管理

グループ外

Photosynth

2021年11月 東証マザーズ上場

adish

2020年3月 東証マザーズ上場

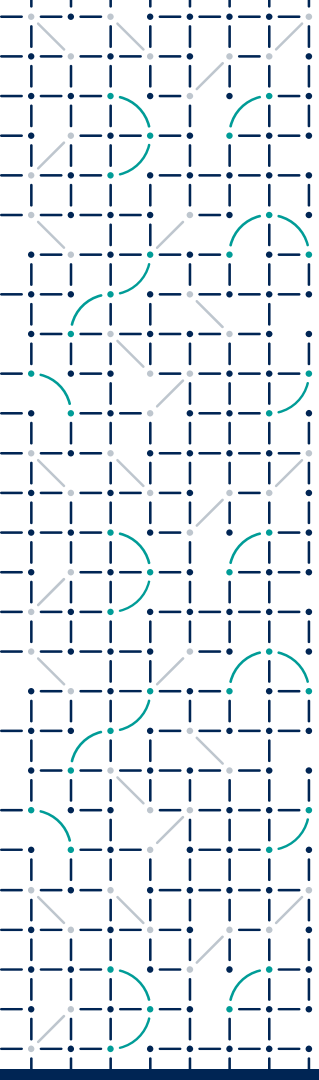
APPBANK

2015年10月 東証マザーズ上場

FIXTA

2015年9月 東証マザーズ上場

※掲載の投資先は一部です。



シェアリングエコノミー市場への取り組み

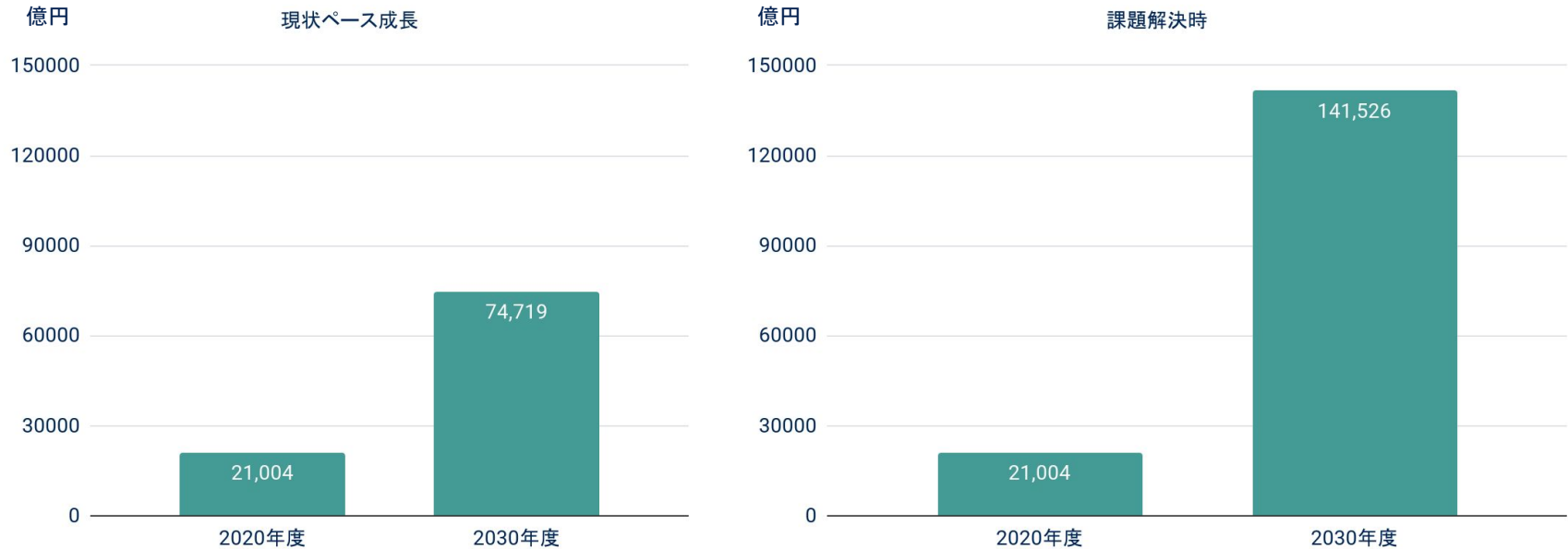
拡大するシェアリングエコノミー領域



※一般社団法人シェアリングエコノミー協会および株式会社情報通信総合研究所調べ

拡大するシェアリングエコノミー領域

法制度の整備が進む等、市場成長の課題が取り除かれれば
国内シェアリングエコノミー市場は 2030年度に14兆円を超える規模に達する見込み



※一般社団法人シェアリングエコノミー協会および株式会社情報通信総合研究所調べ

起業を志向するZ世代



53%

アメリカではZ世代の53%が10年以内に自分の
ビジネスを立ち上げたいとの調査結果
日本のZ世代においてもスタートアップへの関心に高まり

※出典: [FastCompany](#)